

PD-CEP

Professional Driver Comprehensive Evaluation Program

プロドライバーに 安堵を届ける

支援型・記録型の総合評価制度

物流の未来を支える人材を、
評価で裁くのではなく、支援で守り育てる。
PD-CEPは、教育・評価・再教育・
継続支援をつなぐ総合支援制度です。



記録型・支援型

過去と現在の記録を活かし、未来を支援



点数のみで 判断しない

人の背景や努力を尊重する評価



再教育

課題に応じた改善支援



継続支援

伴走型サポート

支える評価が、
人と物流の未来をつくる。



教育

知識・技能の向上



評価

多面的・記録型評価

PD-CEPが目指す社会



ドライバーが
安心して働ける社会

無理のない働き方と
健やかな成長を支援



安全で安定した
物流の実現

安全意識の向上と
事故の未然防止



企業の持続的な
成長に貢献

人材の定着・育成で
競争力を強化



業界全体の信頼と
価値の向上

公正で透明性の高い
評価の普及



日本の物流を未来へ
つなぐ仕組みへ

人を大切にする
文化を全国へ展開

なぜPD-CEPが必要なのか

物流業界は今、大きな転換期を迎えています。

採用だけでは解決しない。

教育だけでも解決しない。

評価だけでも解決しない。

人を育て、守り、働き続けられる
環境を整えることが必要です。



物流業界が直面する5つの課題

01



ドライバー不足

労働人口の減少により、
ドライバーの確保が
ますます困難に。

02



高齢化

ドライバーの高齢化が
進み、体力・健康面の
リスクが増大。

03



外国籍人材受入れ

人材の多様化が進む中、
教育・評価・定着支援の
仕組みが不可欠に。

04



安全管理の高度化

事故ゼロへの期待が高まり、
科学的・継続的な安全管理
が求められている。

05



説明責任の強化

社会や荷主からの信頼確保に
向け、根拠ある評価と透明性
の高い運用が必要。

これらの課題を解決するには、3つの視点をつなげる仕組みが必要です。



事故防止

安全を最優先に、
事故を未然に防ぐ

+



人材育成

一人ひとりの成長を
支え、戦力化する

+



継続支援

働き続けられる環境を
整え、定着を支える



PD-CEPは、
現場の**安全**と**就業継続**を支える仕組みです。



PD-CEPとは

PD-CEPは、プロドライバーの状態を総合的に確認し、
教育・再教育・継続支援につなげる支援型・記録型制度です。
目的は優劣をつけることなく、状態把握・支援・成長にあります。



状態把握

正しく知ることから始める

多角的な評価で、心身・技能・意識・職場環境などの状態を正確に把握。課題だけでなく、強みや良い点も見つけ出します。



支援

一人ひとりに寄り添う支援

個々の状況や課題に合わせた支援計画を策定し、現場と連携して実行。無理なく、着実な改善をサポートします。



成長

記録が未来の力になる

評価・支援の履歴を記録・活用し、成長の可視化と自信につなげます。キャリア形成やモチベーションの向上にも貢献します。



評価は入口であり、支援が本体です。

PD-CEPは、支えることで人と物流の未来をつくります。



PD-CEPの考え方

The PD-CEP Approach

事故は、偶然ではありません。

PD-CEPでは、事故を「入力→判断→操作→結果」の構造で考えます。

確認不足、思い込み、慣れ、焦り、面倒くささ等の「入力異常」が、

判断や操作の乱れにつながり、事故の背景要因となります。



入力異常の主な要因



確認不足

見落とし・確認の
省略・不十分



思い込み

「大丈夫だろう」
「いつも通り」などの
先入観



慣れ

繰り返しのによる
注意力の低下



焦り

時間的プレッシャー
や急ぎによる
余裕の喪失



面倒くささ

手順の省略・
ルール軽視



漫然運転

目的意識の欠如・
集中力の低下



安全運転支援の第一歩は、入力正常化です。

正しい入力が、正しい判断と操作につながり、事故の未然防止につながります。

PD-CEPが 確認する5領域

PD-CEPは、ドライバーの安全運転に必要な要素を
5つの領域で多面的に確認します。



一領域のみで全体を判断せず、
5領域を総合的に見て、支援が必要な部分を把握します。

PD-CEPが目指す社会



ドライバーが
安心して働ける社会
無理のない働き方と
健やかな成長を支援



安全で安定した
物流の実現
安全意識の向上と
事故の未然防止



企業の持続的な
成長に貢献
人材の定着・育成で
競争力を強化



業界全体の信頼と
価値の向上
公正で透明性の高い
評価の普及



日本の物流を未来へ
つなぐ仕組みへ
人を大切にする
文化を全国へ展開

実車評価

実際の車両を使用し、発進、停止、確認、車間距離、
交差点通過、後退、右左折など、
実務に即した24項目を確認します。



実車評価の進め方（公開用）

評価基準・帳票類・詳細な採点方法は、公開用資料には掲載していません。

- 01 A級評価者2名**
複数の視点で確認
- 02 独立記入**
先入観に左右されない
- 03 協議**
内容を共有・確認
- 04 評価確定**
支援につなげる記録

24項目評価（公開用：主な確認領域）

- | | |
|---|--|
| 01 発進・停止
<small>基本操作と安全確認</small> | 02 確認・目視
<small>周囲状況の把握</small> |
| 03 車間・速度
<small>余裕ある距離と調整</small> | 04 交差点・右左折
<small>進入・通過・曲がり方</small> |
| 05 進路変更・合図
<small>意思表示と確認</small> | 06 後退・駐車
<small>死角確認と位置合わせ</small> |
| 07 危険予測
<small>先読みと早めの対応</small> | 08 総合確認
<small>再現性・安定性の確認</small> |

※ 実車評価は、運転の良否を裁くためではなく、再現性・支援ポイントを見つけるために行います。

※ 項目の名称・順序は例示です。運用に合わせて調整します。

※ 実際の評価項目は運用基準に基づき実施

実車評価のポイント



**実車評価は
A級評価者が担当**

評価経験・知識を有する
A級評価者が行います。



**独立記入を
原則とする**

先入観に左右されず、
客観的に評価します。



**協議により
評価を確定**

意見を共有し、
納得性の高い評価に
つなげます。



**再評価・
教育支援へ接続**

評価結果は、再評価や
教育・支援に活用します。



実車評価は、運転の良否を裁くためでなく、
再現性・支援ポイントを見つけるために行います。



点数だけで判断しない

PD-CEPは、総合点による自動判定を行いません。
大切なのは **点数ではなく状態** です。



**総合点
自動判定禁止**

○ 理解・再現性あり



必要な知識・技能を理解し、
安定して実践できている状態。

維持・さらなる成長へ

△ 理解あり・再現性不足



理解はあるが、状況によって
実践が安定しない状態。

△は支援の重要サイン

× 理解不足・未実施



理解や実践が十分でなく、
安全・品質へのリスクが高い状態。

重点的な教育・支援が必要

各領域の内容、前回との差分、本人の状況、
管理者との協議を踏まえて
総合的に確認します。



各領域の内容

知識・技能・行動の
達成状況を確認



前回との差分

成長・改善の傾向や
変化を確認



本人の状況

経験・業務内容・体調など
背景を理解



管理者との協議

運行状況・安全実績等を踏まえ
総合的に判断

高齢ドライバー・ 外国籍ドライバー受入れ支援

多様な人材が安心して活躍できる環境づくりを支援します。

高齢ドライバー支援



年齢のみで判断しない

年齢や経験年数だけでなく、本人の健康状態・運転技能・意欲を総合的に評価します。



状態と変化を確認する

定期的な健康確認や運転評価を通じて、小さな変化にも早期に気づき、必要な支援につなげます。



継続就業支援につなげる

業務内容の見直しや体調管理のサポート、再教育などを行い、安心して長く働ける環境を整えます。



経験と知識は、会社の大切な財産です。
尊重と支援で、安心して活躍できる職場へ。

外国籍ドライバー受入れ支援



日本語教育

会話・読み書き・敬語など、業務や生活に必要な日本語力の向上をサポートします。



安全教育

交通ルール・危険予知・車両点検など、実践的な安全教育で事故の防止を支援します。



法令・物流用語

道路交通法や労働関連法令、物流現場で必要な用語を分かりやすく学べるよう支援します。



マナー・モラル・文化理解

職場でのコミュニケーションや日本の文化・習慣への理解を深め、円滑な職場環境づくりを支援します。



理解と教育が、安心・信頼・活躍につながる第一歩です。

GLB教育連携モデル

学習塾
日本語・基礎学力の向上
生活・文化理解の支援



GLB
教育プログラムの提供
評価・フォローアップ



教習所
運転技能の習得
安全意識の向上



運送会社
安心して働ける環境
定着とキャリア形成

一人ひとりの背景に応じた支援が、安全と定着につながります。



PD-CEPの特徴

PD-CEPは、評価を「希望と成長」につなげる仕組みです。

01



人を切らない

評価は処分のためではなく、
支援のために行います。

02



人を育てる

再教育・継続支援に
つなげます。

03



企業を守る

安全管理・教育記録・
説明責任を支援します。

04



社会を守る

事故防止・物流の安定・
地域安全に貢献します。



PD-CEPは、
ドライバー・企業・社会の
三方を支える仕組みです。

プロドライバーに安堵を届ける

PD-CEPが 目指す未来

- ✔ “高齢だから難しい”
- ✔ “事故を起こしたから終わり”
- ✔ “経験が浅いから不安”

PD-CEPは、そうした考え方を
変えるための制度です。

PD-CEPは、評価で終わる制度ではなく、
支援から始まる制度です。



人は**教育**で変わる



理解が変われば行動が変わる



行動が変われば安全が変わる



安全が変われば**物流の未来**が変わる

プロドライバーに安堵を届ける。

一般社団法人GLB物流人材育成機構

<https://glb.or.jp/>

本資料は、PD-CEPの全体像を説明するホームページ掲載用の概要資料です。

評価基準・運用手順・帳票類・詳細な採点方法は掲載していません。

© 2026 一般社団法人GLB物流人材育成機構 / とちぎ安全教育センター株式会社 無断転載・複製・二次利用禁止

制度運用協力：一般社団法人GLB物流人材育成機構

